

NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

N8100-913/917/972

Express5800/110Eg

ユーザーズガイド

2003年 7月 初版

2004年 1月 第3版

商標について

EXPRESSBUILDERとESMPRO、ExpressPicnicは日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。IntelとPentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Adaptecとそのロゴは米国Adaptec, Inc.の登録商標です。SCSISelectは米国Adaptec, Inc.の商標です。DatalightはDatalight, Inc.の登録商標です。ROM-DOSはDatalight, Inc.の商標です。LSI Logic、MegaRAID、Power Console Plusは米国LSI Logic Corporationの登録商標または商標です。DLTとDLTapeは米国Quantum Corporationの商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2003はMicrosoft® Windows® Server 2003 Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® Server 2003 Enterprise Edition operating systemの略です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のもので、実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

<本装置の利用目的について>

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。

ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よろしくお願いいたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。

弊社相談窓口 ファーストコンタクトセンター
電話番号 03-3455-5800

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波適合品

この装置は経済産業省通知の家電、汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

レーザー安全基準について

この装置に標準で搭載されているCD-ROMドライブは、レーザーに関する安全基準(IEC60825-1)クラス1に適合しています。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お問い合わせの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるように、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 —必ずお読みください—


本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。


安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。







このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



 **警告** 指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

 **注意** 指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	<p>指定以外のコンセントに差し込まない</p> <p>電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。</p>	 注意

本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

警告



人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。



煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



針金や金属片を差し込まない

通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意



海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないでお買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項



警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



注意



指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧で、指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様と合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



ケーブル部分を持って引き抜かない

ケーブル部分を抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り返さない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意



フロントマスクに手をかけて運ばない

本装置を運ぶときはフロントマスクに手をかけて持ち上げないでください。フロントマスクが外れ、装置を落としたり、フロントマスクを壊したりするおそれがあります。



指定以外の場所に設置・保管しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



電源コードを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

本装置内蔵用オプションやインタフェースケーブルなどの取り付け・取り外しは本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま装置内の部品やケーブル、コネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。



また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



CD-ROMドライブの内部をのぞかない

CD-ROMドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池を火に近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



プラグを差したまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意



高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けたボードは接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

注意



雷が鳴ったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。



装置の上にものを載せない

本体が倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。



CD-ROMドライブのトレイを引き出したまま放置しない

引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。



ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない

ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォンジャックに接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。



近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

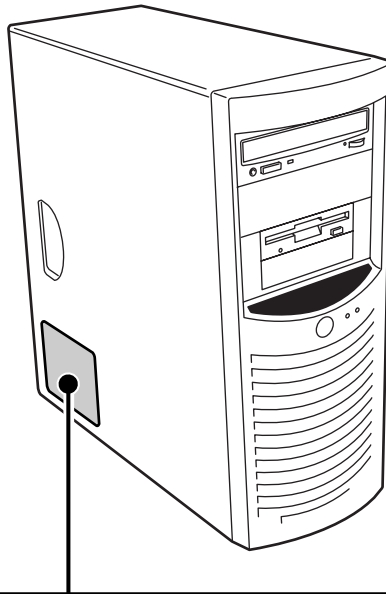


巻き込み注意

本装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。



⚠ 注意 CAUTION

オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。
Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.



電源プラグを抜く



感電注意

ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意ください。
Do not drop any screws inside the system.



ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザズガイドを参照し、正しく接続して下さい。誤った接続は、故障や火災の原因となります。
Refer to the "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.



指をはさんだり、ぶついたりしないように注意して下さい。

To avoid the risk of personal injury, be careful when accessing the inside of the system.



装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかり持って持ち上げて下さい。
Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.



取り扱い上のご注意 — 装置を正しく動作させるために —

本製品を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると誤動作や故障の原因となります。

- 本装置が正常に動作できる場所に設置してください。詳しくは66ページを参照してください。
- 本装置は縦置きで使用します。横置きでは使用できません。
- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本装置の電源がOFFになっていることを確認してから行ってください。
- AC入力電圧が100Vのコンセントに添付の電源コードを接続してください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本装置のアクセスランプが消灯していることを確認してから行ってください。
- 本装置の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してからにしてください。
- 本装置を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本装置を清掃してください(清掃は177ページで説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 本装置は、CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等(UPS)を使用することをお勧めします。
- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付け/接続できても正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因によって起きた故障や破損についての修理は保証期間中でも有料となります。



保守サービスについて

本製品の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本製品をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

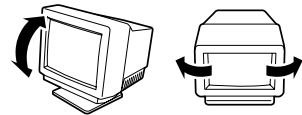
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



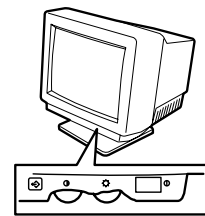
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



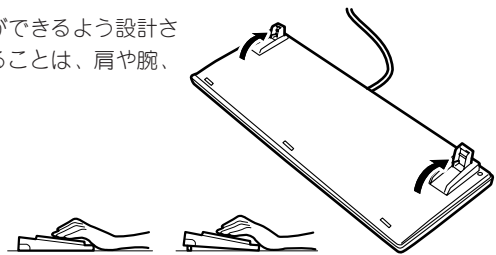
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

本装置に添付されているキーボードは、角度を変えることができるよう設計されています。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、NECのExpressサーバをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
 本製品は、業界標準のアーキテクチャを採用した高性能IA-32 (Intel Architecture, 32-bit) サーバです。
 NECの最新テクノロジーとアーキテクチャにより従来のサーバでは実現できなかったハイパワー、ハイスピードが実現します。
 「高信頼性」はもちろんのこと、「拡張性」を考慮して設計され、ネットワークサーバとして幅広くご利用いただけることでしょう。
 Expressサーバの持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。




本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。本製品のセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは取り扱いの上の安全性を含めてご利用ください。
 本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windowsなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本書の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の購入について

本書を購入したい場合は、最寄りの販売店またはお買い求めの販売店に品名と型名を次のように指定してお申し込みください。

- 品名 Express5800/110Eg ユーザーズガイド
- 型名 UL9020-551

また、ユーザーズガイドおよび添付のCD-ROMに納められているオンラインドキュメントの一部は、Express5800シリーズのホームページからダウンロードすることができます。

[NEC 8番街]: <http://nec8.com/>

本書の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

- 第1編 導入編** 本装置を導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになれるまでのセットアップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しく本装置をお使いになるシステム環境へ導入してください。
- 第2編 ハードウェア編** 本装置のハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、オプションの増設方法、本装置にふさわしい設置場所について知りたいときに参照してください。
- 第3編 ソフトウェア編** 本装置に添付のソフトウェアについてその機能やインストール方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。
- 第4編 運用・保守編** 本装置を運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときは、本装置の故障を疑う前にまずここを参照してください。

付属品の確認

本装置の梱包箱の中には、装置本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、本装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」は、紙封筒に包装されています。パッケージの構成につきましては、紙封筒内にある「EXPRESSBUILDER」の構成表を参照してください。また、EXPRESSBUILDER CD-ROMを紛失し、再購入を希望される場合は、販売店へご相談ください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードなどは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMは、使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

本体または本体に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

- 本体について

第三者へ譲渡(または売却)する場合には、装置に添付されている説明書一式を一緒にお渡しください。



ハードディスク内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないようお客様の責任において確実に処分してください。

WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- 添付のソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡(売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- 本装置およびハードディスク、フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本装置のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

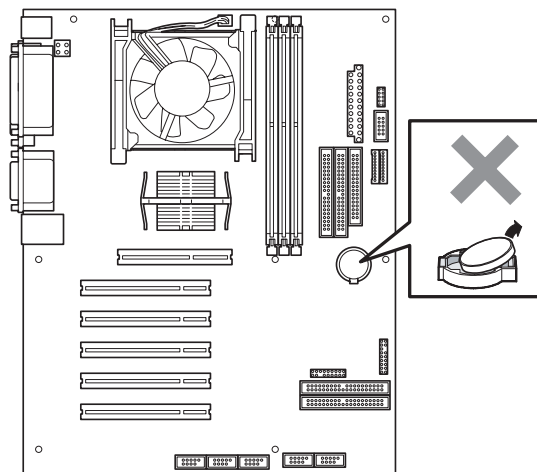
- 本装置の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(装置ファン、装置内蔵のバッテリー、内蔵CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、マウスなど)。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

警告

リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池を火に近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



マザーボード

目次

⚠ 使用上のご注意 - 必ずお読みください -	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	v
一般的な注意事項	v
電源・電源コードに関する注意事項	vi
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	vii
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	viii
運用中の注意事項	ix
警告ラベルについて	x
取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -	xi
はじめに	xiii
本書について	xiii
本書の記号について	xiii
本書の購入について	xiv
本書の構成について	xiv
付属品の確認	xv
第三者への譲渡について	xvi
消耗品・装置の廃棄について	xvii

1 導入編

知っておきたいこと	2
装置外観	2
特長	3
サーバ管理	4
ストレージ管理	5
電源管理	7
ネットワーク管理	7
導入にあたって	8
システム構築のポイント	8
運用方法の検討	8
稼動状況・障害の監視および保守	8
システムの構築・運用にあたっての留意点	9
出荷時の状態を確認しましょう	9
セットアップの手順を確認しましょう	9
各運用管理機能を利用するにあたって	11
お客様登録	12
セットアップを始める前に	13
ハードウェアのセットアップ	13
システムのセットアップ	14

Windows Server 2003のセットアップ	15
カスタムインストールモデルのセットアップ	15
セットアップをはじめる前に ー購入時の状態についてー	15
セットアップの手順	15
シームレスセットアップ	17
OSのインストールについて	18
セットアップの流れ	20
セットアップの手順	21
オプションのネットワークボードのドライバ	27
グラフィックスアクセラレータ	27
USB 2.0コントローラ用ドライバ	27
障害処理のためのセットアップ	28
管理ユーティリティのインストール	32
システムのアップデート	33
システム情報のバックアップ	33
応用セットアップ	34
シームレスセットアップ未対応の大容量記憶装置コントローラを利用する場合	34
マニュアルセットアップ	35
Windows 2000のセットアップ	36
カスタムインストールモデルのセットアップ	36
セットアップをはじめる前に ー購入時の状態についてー	36
セットアップの手順	36
シームレスセットアップ	38
OSのインストールについて	39
セットアップの流れ	41
セットアップの手順	42
オプションのネットワークボードのドライバ	48
USB 2.0コントローラ用ドライバ	48
障害処理のためのセットアップ	49
管理ユーティリティのインストール	52
システムのアップデート ーService Packの適用ー	53
システム情報のバックアップ	53
応用セットアップ	54
シームレスセットアップ未対応の大容量記憶装置コントローラを利用する場合	54
マニュアルセットアップ	55

2 ハードウェア編

各部の名称と機能	58
装置前面	58
装置背面	60
装置内部	62
マザーボード	63
ランプ表示	64
POWER/SLEEPランプ	64
DISKアクセスランプ	64
LINK/ACTランプ	65
100/10ランプ	65
設置と接続	66
設置	66
接続	68
インタフェースケーブル	68
電源コード	69

基本的な操作	70
電源のON	70
POSTのチェック	71
電源のOFF	73
省電力モードの起動	73
フロッピーディスクドライブ	74
フロッピーディスクのセット/取り出し	74
フロッピーディスクの取り扱い	74
CD-ROMドライブ	76
ディスクのセット/取り出し	76
ディスクの取り扱い	77
内蔵オプションの取り付け	78
安全上のご注意	78
静電気について	79
取り付け/取り外しの準備	80
取り付け/取り外しの手順	80
レフトサイドカバー	80
フロントマスク	83
3.5インチハードディスク	85
PCIボード	92
DIMM	102
ファイルデバイス	105
ケーブル接続	110
インタフェースケーブル	110
ハードディスクの増設	110
IDEディスクミラーリングコントローラとの接続	112
ディスクアレイコントローラ (IDE) との接続	113
ディスクアレイコントローラとの接続	115
5.25インチデバイスの接続	117
電源ケーブル	119
BIOSのセットアップ	120
システムBIOS – CMOS Setupユーティリティ	120
起 動	121
キー操作の説明	121
設定例	122
メニューツリー	125
その他のBIOS	134
リセットとクリア	135
リセット	135
強制シャットダウン	135
CMOSのクリア	136
割り込みラインとI/Oポートアドレス	137

3 ソフトウェア 編

添付のCD-ROMについて	140
---------------------	-----

EXPRESSBUILDER	141
起動メニューについて	141
EXPRESSBUILDER トップメニュー	142
起 動	142
シームレスセットアップ	143
ツールメニュー	143
マスターコントロールメニュー	146
ExpressPicnic	147
ExpressPicnicのインストール	147
Windows XP/2000・Windows Server 2003・	
Windows NT 4.0・Windows 95/98/Me	147
Windows NT 3.51	148
セットアップパラメータFDの作成	149
追加アプリケーションのインストール	151
オプションの大容量記憶装置ドライバのインストール	152
稼働機からの情報採取	153
大量インストール	154
Express本体用バンドルソフトウェア	155
ESMPRO/ServerAgent (Windows版)	155
インストール前の準備	155
インストール	156
インストール後の確認	156
Power Console Plus (サーバ)	157
カスタムインストールモデルでのセットアップ	157
シームレスセットアップを使ったセットアップ	157
手動インストール (新規インストール)	157
FastCheck	159
カスタムインストールモデルでのセットアップ	159
シームレスセットアップを使ったセットアップ	159
確認事項	159
パスワードの設定	160
運用上の注意	160
新規インストール	160
エクスプレス通報サービス	161
カスタムインストールモデルでのセットアップ	161
手動インストール (新規インストール)	162
テープ監視ツール	164
カスタムインストールモデルでのセットアップ	164
手動インストール (新規インストール)	164
ESMPRO/UPSController Ver.2.1	166
インストール済みのESMPRO/UPSControllerのセットアップ	166
新規インストール	168
PowerChute <i>plus</i> Ver.5.11J/5.2J	170
カスタムインストールモデルでのセットアップ	170
新規インストール	171
管理PC用バンドルソフトウェア	172
ESMPRO/ServerManager	172
MWA —Management Workstation Application—	172
Power Console Plus (管理PC)	173
Power Console Plus (管理PC) をインストールする前に	173
Power Console Plus (管理PC) のインストール手順	173
Power Console Plus (管理PC) の環境設定	174

4 運用・保守編

日常の保守	176
アラートの確認	176
ステータスランプの確認	176
バックアップ	177
クリーニング	177
本体のクリーニング	177
キーボード/マウスのクリーニング	178
CD-ROMのクリーニング	179
テープドライブのクリーニング	179
システム診断	180
システム診断の内容	180
システム診断の起動と終了	180
障害時の対処	183
障害箇所の切り分け	183
エラーメッセージ	184
POSTのエラーメッセージ	184
ランプによるエラーメッセージ	185
Windows Server 2003/Windows 2000のエラーメッセージ	185
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ	186
トラブルシューティング	187
Expressサーバについて	187
Windows Server 2003/Windows 2000について	192
EXPRESSBUILDERについて	195
シームレスセットアップについて	196
マスターコントロールメニューについて	199
ExpressPicnicについて	200
ディスクアレイについて	200
ESMPROについて	200
障害情報の採取	202
イベントログの採取	202
構成情報の採取	203
ワトソン博士の診断情報の採取	203
メモリダンプの採取	203
システムの修復	204
修復手順 -Windows Server 2003-	204
修復手順 -Windows 2000-	204
オフライン保守ユーティリティ	207
オフライン保守ユーティリティの起動方法	207
オフライン保守ユーティリティの機能	207
移動と保管	208
ユーザーサポート	209
保証について	209
修理に出される前に	209
修理に出される時は	210
補修用部品について	210
保守サービスについて	211
情報サービスについて	212

付録A 仕 様	213
付録B 保守サービス会社網一覽	214
索 引	219

オンラインドキュメントについて

添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」には次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じてEXPRESSBUILDERのマスターコントロールメニュー(146ページ)から参照してください。

- ユーザーズガイド
- Microsoft Windows Server 2003 Standard Editionインストールサブリメントガイド*
- Microsoft Windows 2000 Serverインストールサブリメントガイド*
- ESMPRO/ServerAgent(Windows版)インストールガイド
- ESMPRO/ServerManagerインストールガイド
- Power Console Plusユーザーズマニュアル
- FastCheckユーザーズマニュアル
- テープ監視ツールセットアップガイド
- エクスプレス通報サービスインストールガイド

* 通常はシームレスセットアップにてインストールされることをお勧めします。